

あとがき

芦屋市史の編集事業は、昭和二十六年十月にさかのぼる。戦後の復興がまだできず、諸事すべて不自由であったとき、阪神間諸市にさきがけて芦屋市教育委員会の事業として著手されたのであった。当時広島大学教授であった魚澄惣五郎博士が編集委員長の任につかれ、武藤誠・有坂隆道・末中哲夫の三名が委員として参加した。魚澄博士は市当局の期待にこたえて、乏しい予算にかかわらず深い学識と、豊富な地方史編さんの経験をもって修史の業を主宰された。昭和二十九年四月、広島大学を辞任され、関西大学教授に転じられたので事業計画はいっそう順調に進捗し、昭和三十二年三月にいたる六年間に本篇（二九八頁）・史料篇一（二六三頁）・史料篇二（一五四頁）・年表（二二二頁）が分冊刊行された。

去る昭和四十四年三月、市当局は教育委員会とともに、芦屋市が四十五年十一月に迎える市制三十周年を記念する事業の一つとして、市史の再刊を企画した。不幸にして魚澄博士は、芦屋市史完成後間もなく、三十六年三月に永逝されたので、この企画はさきに委員であった武藤・有坂・末中の三名に議られることとなった。

既刊の芦屋市史は、当時の市の財政事情や出版事情に拘束されて紙幅に制限をうけ、かつ分冊出版（年表は二十八年三月、史料篇一は三十年三月、本篇は三十一年十一月、史料篇二は三十二年三月に刊行）されており、その装釘もいちようでなかったし、刊行後すでに一〇余年を経過し、その間の日本のいちじるしい国勢の進展を反

映して市をめぐる諸般の様相の変化も大きく、また史学の進歩も目ざましいものがあり、ことに土地開発にともなつて行なわれた古代の遺跡調査によつて幾多の新知見を加えているゆえ、芦屋市史の増補再版は、それを執筆編集したわれわれも望むところであるので、市の企画に賛同した。そこで同年四月、編集専門委員の委嘱が行なわれた。専門委員には右の三名のほか、多年芦屋市域の古文化財調査に当り、市教育委員会の文化財保護行政につねに協力している村川行弘が加えられ四名をもつて編集委員会を構成、武藤委員が委員長となつた。

編集事務は市民部（部長山崎三郎、のち参事田中忠雄担当業務となる）の市民文化室（室長大谷良介、のち和田実に交迭）の所管業務として、昭和四十四年四月一日から発足し、芦屋市民会館内に編集室が設けられた。主査岩本昌三が専任の事務担当者となり、史料探訪調査など専門委員の研究調査をたすけるため島田竜雄、高橋隆博が編集事務嘱託となつた。嘱託には同年十月から田中敬子が加わつた。（四十六年八月高谷和子、ついで桑田悦子と交替）

こうして編集事業の体制がととのえられたが、市史の性格上各方面の協力を必要とするので、井田建次郎・松井駒太郎・天王寺谷又之助・是常長治・三枝秀行・細川久吉の諸氏が市史編集委員会委員を委嘱され、助役林利市・教育委員長井間皓之・市議会副議長下川満と市民部長山崎三郎（四十四年十月から参事田中忠雄）が市側から加わり、編集事業の円滑な進行のため援助が与えられることになつた。

今次の市史刊行は、市制三十周年記念事業であるため、市当局はその記念日である昭和四十五年十一月十日の発刊を予定し、編集専門委員も、増補再刊という事情からその方針をもつて修史作業に入ったのであるが、本市

につづいて市史を発刊した西宮市、尼崎市、伊丹市の修史事業を契機として、市の内外からの新史料の発見があり、また上述したように埋蔵文化財の発掘調査による新資料が多く、単に既刊市史の補筆にとどめることは学問上許されることが研究調査のすすむうちに明らかとなり、全く新しく書きあらためることとなった。加えてこの間、委員の勤務する大学におけるかつてない紛争がなお継続したため、予定したように稿をすすめることが出来ず、刊行予定日限を延期せざるを得ぬこととなった。この事情に対し理解ある措置を講じて下さった渡辺市長はじめ市当局ならびに編集委員会委員各位に対し深謝の意を表したい。

史料調査と執筆は専門委員がおの専門とするところに応じ分担したが、特殊事項についてはそれぞれ専門研究者に調査ならびに執筆を依頼した。すなわち地理学関係については自然地理分野を前田昇氏に、人文地理分野を末尾至行・橋本征治・武藤直の三氏に、民俗学関係については上井久義氏に委託し協力を得た。ここに感謝の意を表する。

全巻の執筆分担を記すと、第一章は前田昇が専ら筆を執り、第二章および第三章は村川委員が主として担当し、武藤委員が参与した。第四章と第五章は有坂委員が高橋嘱託の助力をえて執筆したが、第四章第五節のうちの文化財関係事項と、第五章第二節は村川委員が、また第五章第五節は島田嘱託、同六節は上井久義氏、同七節は未中委員が分担執筆した。第六章は島田嘱託が担当し、第三節を橋本征治氏に委託した。第七章は未中委員が担当執筆したが、第七節(一)第九節(三)・(四)は末尾至行氏の、第七節(二)および第八節は武藤直氏の、第九節(一)・(二)は橋本征治氏の執筆である。

右に記したように多くの分担執筆があるので全篇としての統一に意を用い武藤委員が主としてこれに当った。しかしながら脱稿時期に前後があり、推敲の時日もじょうぶなかつたので文辞の不統一や叙述の重複があることをおそれる。

発刊に際し、資料の閲覧やその使用について好意ある協力を賜った国会図書館・内閣文庫・宮内庁書陵部・山口県文書館・竹田市立図書館・元竹田市立図書館長北村清士氏・兵庫県史編集室・西宮市行政資料室・尼崎市教育委員会・尼崎市史編集室・伊丹市史編集室に対して深甚の感謝の意を表する。

また大阪城石垣刻印調査に際し援助を賜った大阪市立博物館はじめ関係諸機関、考古学資料の調査や製図に勞をいとわず奉仕して下さった尼崎貞子氏と芦ノ芽グループの諸氏、史料の採訪に厚意をもって協力して下さった所蔵家各位ならびに北野久雄氏、作図のために協力をおしまれなかつた森三藏氏、本書の印刷に当り終始誠意をもって作業をすすめて下さった凸版印刷株式会社の担当職員諸氏に対しても厚くお礼申し上げます。

昭和四十六年十一月一日

芦屋市史編集専門委員

武藤 有末 村
 藤 坂 中 川
 隆 哲 行
 誠 道 夫 弘

図版・表目次

| | | |
|-------|------------------|-----|
| 表 160 | 配給肥料の変化 | 953 |
| 表 161 | 奨励品種（昭和 26 年） | 953 |
| 表 162 | 自給肥料（昭和 26 年） | 953 |
| 表 163 | 自・小作別の戸数と耕作地 | 959 |
| 表 164 | 階層別土地所有規模 | 960 |
| 表 165 | 抽出農家の土地所有と耕作地の動態 | 960 |
| 表 166 | 専業別戸数 | 963 |
| 表 167 | 農業従事度合（昭和 40 年） | 964 |
| 表 168 | 漁法別一覧（昭和 44 年現在） | 975 |
| 表 169 | 漁協組合員の構成 | 976 |
| 表 170 | 漁業統計 | 978 |
| 表 171 | 商店数の推移 | 984 |
| 表 172 | 芦屋市民の買物先の推移 | 990 |

| | | |
|-------|--------------------------|------|
| 表 173 | 類別工業事業所数の推移 | 997 |
| 表 174 | 従業員規模別工業事業所（昭和 44 年 1 月） | 997 |
| 表 175 | おもな工業事業所の吸引先別従業員数 | 1002 |

付 図 目 次

| | | |
|-------|----------|-----------|
| 第 1 図 | 精道村土地利用図 | （大正 3 年） |
| 第 2 図 | 同 上 | （大正 12 年） |
| 第 3 図 | 同 上 | （昭和 7 年） |
| 第 4 図 | 芦屋市土地利用図 | （昭和 44 年） |
| 第 5 図 | 芦屋市遺跡地図 | |

| | |
|--|---------------------------------------|
| 表 111 「芦屋国際文化住宅都市建設法」成立経過…………… 780 | 表 137 産業別人口の推移…………… 876 |
| 表 112 道路舗装率…………… 789 | 表 138 職業別人口の推移…………… 877 |
| 表 113 治安灯設置数の推移…………… 789 | 表 139 兵庫県の市別流出人口（流出率 10 位まで）…………… 879 |
| 表 114 下水道＝埋設下水管の延長経過表…………… 791 | 表 140 通勤・通学別流出先別流出人口…………… 881 |
| 表 115 公園施設設置表…………… 791 | 表 141 兵庫県の市別流入人口（流入率 10 位まで）…………… 884 |
| 表 116 墓地現在数(昭和 45 年 9 月)・792 | 表 142 国籍別外国人(昭和 45 年 6 月末)…………… 887 |
| 表 117 戦後における市立学校園復旧と整備状況…………… 798～9 | 表 143 用途地域の変遷…………… 890 |
| 表 118 教育費決算額…………… 799 | 表 144 昭和期(戦前)の土地区画整理事業…………… 896 |
| 表 119 収益事業収入のうち文教施設充当額…………… 801 | 表 145 昭和期(戦後)の土地区画整理事業…………… 900 |
| 表 120 芦屋市学校復興並びに建設資金借入金…………… 802 | 表 146 町別の一戸当たり床面積と専用住宅率…………… 909 |
| 表 121 給食実施関係表…………… 804 | 表 147 芦屋付近の阪急バス各営業所別運行状況…………… 930 |
| 表 122 教育委員会事務局機構変遷…………… 806 | 表 148 阪急バス芦屋市内線の運行状況…………… 930 |
| 表 123 学校園教員と児童・生徒数…………… 809 | 表 149 浜手土地区画整理の事業費負担…………… 933 |
| 表 124 社会教育活動およびその施設などの利用状況…………… 818 | 表 150 国道 2 号線および 43 号線の交通量…………… 933 |
| 表 125 芦屋市市税収入状況…………… 826 | 表 151 芦屋市の自動車交通量…………… 936 |
| 表 126 地方債在高に関する調べ(昭和 25～29 年度末)…………… 827 | 表 152 市道の幅員別延長…………… 936 |
| 表 127 普通会計決算額(歳出)(昭和 20～29 年度)…………… 829 | 表 153 市内の自動車台数…………… 937 |
| 表 128 市税の内訳率…………… 831 | 表 154 芦屋市の都市計画街路…………… 938 |
| 表 129 費目別構成比率…………… 831 | 表 155 芦有道路通行台数一覧表…………… 940 |
| 表 130 生活保護…………… 834 | 表 156 芦屋市内農地買収売渡し面積一覧…………… 945 |
| 表 131 保育所(市立)…………… 836 | 表 157 村内外地主別の買収面積…………… 945 |
| 表 132 交通事故件数…………… 851 | 表 158 農地・農業委員一覧…………… 948 |
| 表 133 降下ばいじん量・いおう酸化物量年度別変化表…………… 852 | 表 159 米・麦などの供出…………… 950 |
| 表 134 測点別海水汚染度…………… 854 | |
| 表 135 年齢別人口構成の推移…………… 871 | |
| 表 136 出生地別人口(昭和 25 年)…………… 873 | |

図版・表目次

| | | | | | |
|--------------|-----------------------------|-------|-------|-----------------------------|-------|
| 表 57 | 時代別村費収入の変遷 | 659 | 表 85 | 教育費支出額比率 | 729 |
| 表 58 | 大正年間年次別村費収入 | 660 | 表 86 | 賦課徴収率対比表 | 729 |
| 表 59 | 主要事業の経費一覧 | 662～3 | 表 87 | 納税比率一例 | 733 |
| 表 60 | 時代別村費支出の変遷 | 664 | 表 88 | 賞与国債支給状況 | 734 |
| 表 61 | 大正年間年次別村費支出 | 664 | 表 89 | 隣保数一覧 | 735 |
| 表 62 | 明治、大正期の精道小学校 職員児童数 | 668 | 表 90 | 商工業者数の推移 | 741 |
| 表 63 | 村費、教育費の比較 | 669 | 表 91 | 県民修練会参加状況 | 742 |
| 表 64 | 昭和年間児童、生徒数 | 671 | 表 92 | 警防団組織一覧表 | 745 |
| 表 65 | 村費、教育費の比較表 | 671 | 表 93 | 芦屋市新町名と旧小字名(1) | 747 |
| 表 66 | 年次別公園費支出 | 679 | 表 93 | 芦屋市新町名と旧小字名(2) | 748 |
| 表 67 | 明治期における地目別面積 | 686 | 表 94 | 青年学校在籍者数 | 749 |
| 表 68 | 明治期における耕作地 | 687 | 表 95 | 青年学校(男子)教授、訓 練時数、課程表 | 750 |
| 表 69 | 農産物と反収(1) | 695 | 表 96 | 芦屋市女子青年学校課程表 | 751 |
| 表 70 | 耕地、土地区画整理組合調 査表 | 698 | 表 97 | 青年学校入学資格表 | 752 |
| 表 71 | 累年収支決算(岩ヶ平土地 区画整理地区) | 702 | 表 98 | 小学校児童・職員数(昭和 17年～21年) | 754 |
| 表 72 | 換地前後の地目別面積(岩 ヶ平土地区画整理地区) | 703 | 表 99 | 幼稚園・職員及び園児数 (昭和20年12月現在) | 754 |
| 表 73 | 地目別面積 | 705 | 表 100 | 空襲被災状況 | 755 |
| 表 74 | 農地面積 | 705 | 表 101 | 米軍軍政部の系統(昭和21 年2月現在) | 759 |
| 表 75 | 抽出農家の土地所有規模の 変化 | 707 | 表 102 | 生活扶助者状況 | 762 |
| 表 76 | 村内、外者別土地取得筆数 | 709 | 表 103 | 戦災者引揚者配給状況一覧 表 | 764 |
| 表 77 | 農家数統計 | 711 | 表 104 | 国民学校職員児童及学級数 (昭和21年12月末) | 766 |
| 表 78 | 農産物と反収(2) | 713 | 表 105 | 選挙投票状況 | 769 |
| 表 79 | 漁業に関する統計 | 718 | 表 106 | 歴代市長(公選) | 770 |
| 表 80 | 漁業従事形態 | 719 | 表 107 | 歴代市議会議長 | 770 |
| | | | 表 108 | 芦屋市警察機構図(昭和28 年) | 772 |
| | | | 表 109 | 組織機構の変遷調 | 772～3 |
| | | | 表 110 | 一般会計歳出高位費目と構 成比 | 773 |
| 【第7章】 | | | | | |
| 表 81 | 歴代市長(任命) | 726 | | | |
| 表 82 | 歴代市会議長 | 726 | | | |
| 表 83 | 市の機構変遷 | 727 | | | |
| 表 84 | 年度別会計決算 | 728 | | | |

表 6 気象特異日と芦屋 …………… 15
 表 7 芦屋市の最多風向 …………… 17
 表 8 芦屋地方の地質系統 …………… 19
 表 9 昭和 13 年 7 月 3、4、5 日降
 雨量 …………… 60

【第 5 章】

表 10 尼崎藩主一覧 …………… 346
 表 11 幕府代官一覧 …………… 353
 表 12 市域村々を含む郡右衛門組・
 大庄屋組の変遷 …………… 387
 表 13 庄屋・年寄一覧表 …………… 390～1
 表 14 寛文検地による村高の増加 … 394
 表 15 寛文期の免（租率） …………… 402
 表 16 打出村の近世中期の免（租
 率） …………… 403
 表 17 三条村の免と免合（安永～
 嘉永） …………… 403
 表 18 村高の変遷 …………… 423
 表 19 芦屋村の新田開発 …………… 428
 表 20 打出村の新田 …………… 433
 表 21 三条村の新田開発 …………… 434
 表 22 寛文元年芦里村への出作 …… 435
 表 23 天保 6 年芦屋村への出作 …… 436
 表 24 寛文 3 年三条村百姓持高表 … 439
 表 25 元祿 3 年三条村の家屋 …………… 441
 表 26 年季奉公人 …………… 446
 表 27 家数・人口の推移 …………… 454
 表 28 三条村百姓持高別人数の変
 遷 …………… 457
 表 29 三条村百姓持高の変動 …………… 459
 表 30 元文 4 年打出村持高表 …… 463～4
 表 31 梅谷割山配分調 …………… 480
 表 32 貞享 4 年番割り表 …………… 494
 表 33 寛政 12 年番割り表 …………… 501

表 34 文致年間三条村の菜種収量
 と販売先 …………… 510

【第 6 章】

表 35 明治 19 年度芦屋村費歳入・
 歳出 …………… 590
 表 36 芦屋、三条、津知村地価、
 地租 …………… 594
 表 37 三条村山林原野地等位、地
 価 …………… 595
 表 38 壬申戸籍による統計表 …………… 597
 表 39 歴代精道村村長一覧 …………… 604
 表 40 武庫郡費の精道村分賦額 …… 606
 表 41 芦屋市域鉄道用地調（鉄道
 寮事務簿） …………… 610
 表 42 芦屋山伐出し荒石値段（井
 床利兵衛文書） …………… 612
 表 43 芦屋駅乗降者、運輸収入調 … 614
 表 44 郵便の増加 …………… 621
 表 45 電報、電話の増加 …………… 622
 表 46 打出・芦屋地区地区別地目
 変換件数・面積調 …………… 624
 表 47 耕地、山林原野別の地目変
 換件数・坪数 …………… 627
 表 48 精道村の戸数 …………… 629
 表 49 精道村の人口 …………… 630
 表 50 地区別人口の推移 …………… 631
 表 51 大正 3 年電力料金比較表 …… 633
 表 52 芦屋駅浸水高（大阪鉄道局
 編「昭和 13 年水害記録」） … 650
 表 53 被災援助団体名一覧 …………… 651
 表 54 明治時代の歳入、歳出額 …… 655
 表 55 大正時代の歳入、歳出額 …… 657
 表 56 昭和元～14 年間の歳入、歳
 出額 …………… 658

図版・表目次

| | | | |
|---|-----|--|------|
| と人口重心 | 867 | 図 355 各駅利用状況(町別) | 928 |
| 図 331 芦屋市の性比の変遷 | 869 | 図 356 戦後復活の新設のバス路線 | 929 |
| 図 332 昭和 25 年の人口ピラミッド | 871 | 図 357 復興並びに浜手土地区画整 理設計図 | 932 |
| 図 333 昭和 40 年の人口ピラミッド | 871 | 図 358 兵庫県道高速神戸西宮線 (高架)建設以前(下段)と建 設後(上段)の第 2 阪神国道 | 934 |
| 図 334 産業別就業者数 | 876 | 図 359 芦有道路(芦有開発株式会 社提供) | 940 |
| 図 335 町別流出人口 | 880 | 図 360 農地改革区域図 | 944 |
| 図 336 芦屋市の流出人口 | 882 | 図 361 農地の動態 | 956 |
| 図 337 芦屋市への流入人口 | 885 | 図 362 経営規模別農家戸数 | 962 |
| 図 338 人口、世帯数、農地面積の 変遷 | 888 | 図 363 農産物の作付状況 | 969 |
| 図 339 都市計画による土地利用区 域概要 | 889 | 図 364 反当り収量の変化 | 970 |
| 図 340 町別の農耕地の残存率 | 891 | 図 365 芦屋浜の漁業 | 973 |
| 図 341 昭和 20 年以前の住宅地化の 進展と戦災地域および復興 区画整理地域 | 894 | 図 366 漁獲高と製造高 | 979 |
| 図 342 芦屋海岸の防潮堤 | 900 | 図 367 芦屋市の小売商店の分布 | 985 |
| 図 343 昭和 20 年以降の住宅地化の 進展と復興区画整理地域 | 902 | 図 368 三八通り商店街 | 988 |
| 図 344 戦後の新築家屋の建築年代 | 903 | 図 369 商店街小売市場の分布 | 991 |
| 図 345 芦屋市内の家屋の建築年次 別分布 | 904 | 図 370 商店街・市場の商圏(1) | 993 |
| 図 346 翠ヶ丘住宅と岩園甲南団地 | 906 | 図 371 商店街・市場の商圏(2) | 994 |
| 図 347 共同住宅の分布と町別の住 宅密度 | 908 | 図 372 商店街・市場の商圏(3) | 995 |
| 図 348 芦屋市都市計画街路進捗状 況図 | 912 | 図 373 工業事業所の町別分布(1) | 998 |
| 図 349 市内駅別乗客数推移図 | 914 | 図 374 工業事業所の町別分布(2) | 999 |
| 図 350 戦前に開通したバス路線 | 918 | 図 375 市制 30 周年記念式典 | 1006 |
| 図 351 国鉄芦屋駅旧駅舎と六麓荘 バス(昭和初期) | 919 | | |
| 図 352 阪急芦屋川駅的时间帯別乗 降人員(昭和 44 年 11 月 11 日) | 922 | | |
| 図 353 国鉄旅客輸送の推移 | 923 | | |
| 図 354 国鉄芦屋駅 | 926 | | |

表 目 次

【第 1 章】

| | |
|----------------|----|
| 表 1 芦屋の平均気温 | 12 |
| 表 2 芦屋および周辺の気温 | 12 |
| 表 3 芦屋の降水量 | 13 |
| 表 4 芦屋および周縁の雨量 | 13 |
| 表 5 芦屋の天気日数 | 14 |

| | |
|-----------------------|----------------------|
| 図 285 明治期における耕地所有規模 | 図 303 新市庁舎 |
| 模 | 787 |
| 図 286 山林所有規模 | 図 304 岩園公園風景 |
| 688 | 790 |
| 図 287 耕地土地区画整理組合 | 図 305 芦屋市霊園風景 |
| 690 | 792 |
| 図 288 経営広狭別戸数(1) 耕地所有 | 図 306 妹姉都市提携協定書 |
| 有広狭別戸数(2) | 794 |
| 708 | 図 307 モンテペロ市位置図 |
| 図 289 村外地主の農地所有規模 | 796 |
| 709 | 図 308 ユネスコ会館遠望(向井唯 |
| 図 290 大正のころの芦屋浜鰯地引 | 夫提供) |
| 網の風景 | 797 |
| 721 | 図 309 精道中学校の新築校舎 |
| | 799 |
| | 図 310 市立芦屋高等学校全景 |
| | 808 |
| | 図 311 芦屋大学全景(芦屋大学提 |
| | 供) |
| | 812 |
| | 図 312 巡回文庫の活動 |
| | 814 |
| | 図 313 青少年センター |
| | 817 |
| | 図 314 芦屋市展風景(昭和33年) |
| | 819 |
| | 図 315 市民会館とルナ・ホール |
| | 820 |
| | 図 316 地方債現在高推移図 |
| | 830 |
| | 図 317 老人ホーム和風園 |
| | 837 |
| | 図 318 市立福祉センター |
| | 838 |
| | 図 319 市民病院全景 |
| | 841 |
| | 図 320 国民体育大会芦屋会場に御 |
| | 臨場の両陛下 |
| | 843 |
| | 図 321 ロックガーデン |
| | 845 |
| | 図 322 焼却場 |
| | 847 |
| | 図 323 高度地区地域図 |
| | 855 |
| | 図 324 上宮川会館 |
| | 856 |
| | 図 325 芦屋市人口の増加 |
| | 859 |
| | 図 326 昭和26年～30年の町別人口 |
| | の増加 |
| | 860 |
| | 図 327 昭和30年～35年の町別人口 |
| | の増加 |
| | 862 |
| | 図 328 昭和35年～40年の町別人口 |
| | の増加 |
| | 864 |
| | 図 329 昭和40年～44年の町別人口 |
| | の増加 |
| | 865 |
| | 図 330 町別の人口密度(昭和40年) |
| | |
| 【第7章】 | |
| 図 291 市制施行祝賀の旗行列 | 724 |
| 図 292 応召兵士の見送り風景 | 739 |
| 図 293 国防婦人会会員の慰問品荷 | |
| 造り(山村哲男提供) | 740 |
| 図 294 防空演習の状況 | 743 |
| 図 295 精道村防護団三条分団の防 | |
| 空演習実施通知書(旧三条 | |
| 村共有文書) | 743 |
| 図 296 国防婦人会の活動状況(奥 | |
| 山迪正提供) | 744 |
| 図 297 山手小学校校舎の擬装(「山 | |
| 手小学校創立35周年記念 | |
| 誌) | 746 |
| 図 298 高梁駅について集団疎開の | |
| 児童(辻久子提供) | 753 |
| 図 299 ポツダム宣言を知らせる米 | |
| 軍のピラ(1) | 756 |
| 図 299 ポツダム宣言を知らせる米 | |
| 軍のピラ(2) | 757 |
| 図 300 婦人文化学園開講式(兵庫 | |
| 県連合婦人会編「25年のあ | |
| ゆみ」) | 767 |
| 図 301 新消防庁舎 | 774 |
| 図 302 市民文化賞牌 | 786 |

図版・表目次

| | |
|---|--|
| 図 250 明治 9 年下等小学校の免状 (小阪正一所蔵) …………… 599 | 図 267 大正 7 年に設けられた山芦 屋消防組(第 5 部)(山村哲 男提供) …………… 636 |
| 図 251 明治 17 年第 1 番学区の免状 (小阪正一所蔵) …………… 600 | 図 268 芦屋警察署(昭和初期) …… 638 |
| 図 252 明治 19 年精道小学校開校当 時の校舎(大正 5 年撮影) (助野正義提供) …………… 601 | 図 269 精道村立伝染病院(木田明 提供) …………… 640 |
| 図 253 精道小学校内に設置の精道 村役場(大正 3 年撮影)(助 野正義提供) …………… 603 | 図 270 山芦屋水道組合水源地(山 村哲男提供) …………… 643 |
| 図 254 市制施行前後の精道村役場 … 608 | 図 271 奥山浄水場全景(昭和 13 年) … 644 |
| 図 255 文政 3 年の名寄帳の部分 (旧三条村共有文書) …………… 610 | 図 272 昭和 13 年風水害による被害 状況(国鉄芦屋駅北付近) (木田明提供) …………… 648 |
| 図 256 汽車が走る芦屋地方の田園 風景画(井床利兵衛所蔵) … 611 | 図 273 芦屋川流域浸水図(大阪鉄 道局編「昭和 13 年水害記録」 による) …………… 649 |
| 図 257 打出村石材の文書(鉄道院 文書) …………… 611 | 図 274 石垣に利用された挽臼 …… 653 |
| 図 258 国鉄芦屋駅(昭和初期) …… 613 | 図 275 川西町にあった東洋牧場 (昭和初期) …………… 654 |
| 図 259 開通時の阪神電車芦屋駅 …… 615 | 図 276 精道小学校修業証書(小阪 正一所蔵) …………… 666 |
| 図 260 開通当時の阪急電車(大正 9 年) …………… 616 | 図 277 明治 42 年精道村立精道裁縫 学校修業証書(助野正義所 蔵) …………… 667 |
| 図 261 (1)大正のころ、芦屋遊園地 を走った人力車 …………… 618 | 図 278 精道小学校校舎(大正 3 年 撮影) …………… 669 |
| 図 261 (2)芦屋遊園地内を走る自動 車 …………… 619 | 図 279 戦前の芦屋高等女学校(石 本剛也提供) …………… 671 |
| 図 362 芦屋郵便局(昭和初期)(木 田明提供) …………… 620 | 図 280 芦屋児童の村小学校(昭和 3 年撮影)(前田寿栄子提 供) …………… 672 |
| 図 263 旧三条村からみた精道村風 景(明治末年) …………… 625 | 図 281 精道村公会堂(昭和 31 年 1 月撮影) …………… 676 |
| 図 264 芦屋字井ノ尻廃池稟請地付 近見取図 …………… 626 | 図 282 打出公会堂 …………… 677 |
| 図 265 造成中の六麓荘住宅街(昭 和初期) …………… 628 | 図 283 芦屋遊園地風景 …………… 678 |
| 図 266 竜吐水(小阪正一所蔵)と 手押ポンプ(在芦屋神社) … 635 | 図 284 芦屋仏教会館 …………… 681 |

| | | | |
|--|-----|---------------------------------------|-----|
| 水刻限（小阪作兵衛文書） | 501 | | |
| 図 215 東川一の井手あと | 502 | 図 233 大峯講と大神宮西講中ののぼり（旧三条村共有） | 550 |
| 図 216 「明和6年芦屋村差出明細帳」にみえる芦屋村溜池（猿丸吉左エ門文書） | 506 | 図 234 天保5年8月の「ふか切り」雨乞い（鎌田彦市所蔵） | 554 |
| 図 217 諸事奥印控の菜種売払い諸文控（小阪作兵衛文書） | 510 | 図 235 ふか切り岩（まな板岩） | 554 |
| 図 218 水車建設願い一札（五味六兵衛文書） | 512 | 図 236 粃を種子池につける（農事次第図屏風、小阪作兵衛所蔵） | 558 |
| 図 219 石垣に転用された水車臼 | 513 | 図 237 田植え（農事次第図屏風、小阪作兵衛所蔵） | 559 |
| 図 220 摂河568か村国訴状写し（小阪作兵衛文書） | 517 | 図 238 千歯こき、カラサ打ち、粃すり（農事次第図屏風、小阪作兵衛所蔵） | 561 |
| 図 221 灘目油稼水車両組口上書（小阪作兵衛文書） | 519 | 図 239 ホウモリ | 565 |
| 図 222 文化6年、本庄9か村氏神神事の節喧嘩口論慎み申合せ（小阪作兵衛文書） | 525 | 図 240 岩ヶ平の行者講の宿でかける掛幅 | 570 |
| 図 223 享和4年三条村取締方取調書(1)（小阪作兵衛文書） | 527 | 図 241 岩ヶ平天神社境内にある役行者の碑 | 571 |
| 図 223 同 上(2) | 528 | 図 242 猿丸安時頌徳碑（東芦屋町） | 575 |
| 図 223 同 上(3) | 529 | 図 243 海深絵図（山口県文書館所蔵） | 578 |
| 図 224 寺社御条目（旧三条村共有文書） | 532 | 図 244 打出村陣屋御用請書（西宮市田富哲蔵文書） | 579 |
| 図 225 三条村宗門改帳（五味六兵衛文書） | 533 | 図 245 左八郎兵衛大庄屋格仰付け書（神戸市左博文書） | 580 |
| 図 226 芦屋神社（昭和初期） | 535 | | |
| 図 227 蘆谷天神記（首部と末尾）（猿丸吉左エ門所蔵） | 535 | 【第6章】 | |
| 図 228 徳本上人名号塔（小槌町） | 537 | 図 246 尼崎県の印（左 博文書） | 584 |
| 図 229 三条村絵図（天保八年） | 539 | 図 247 兵庫県令宛第6区長報告雛型（五味六兵衛文書） | 587 |
| 図 230 本庄9か村 | 542 | 図 248 三条村田高反別帳（五味六兵衛文書） | 591 |
| 図 231 文化5年、本庄9か村氏神神輿神役申合せ（小阪作兵衛文書） | 544 | 図 249 明治10年発行の地券（左博所蔵） | 593 |
| 図 232 芦屋神社の祭礼だんじり | | | |

図版・表目次

| | |
|--|---|
| 図 179 奥山ゴロゴロ岳B地区の刻 印石…………… 372 | 図 195 文化14年殿様御巡見諸入用 割り…………… 421 |
| 図 180 奥山ゴロゴロ岳C地区の刻 印石…………… 373 | 図 196 元禄5年三条村新田検地帳 (旧三条村共有文書)…………… 426 |
| 図 181 奥山ゴロゴロ岳周辺の刻印 石分布図…………… 374 | 図 197 本役人の身分を示す三条村 宗旨人家御改帳(小阪作兵 衛文書)…………… 437 |
| 図 182 岩ヶ平神社内の刻印石…………… 377 | 図 198 元禄3年三条村絵図にみえ る隠居…………… 445 |
| 図 183 六麓荘町福田氏邸内の刻印 石…………… 378 | 図 199 元禄3年三条村絵図にみえ る「あるき」屋敷…………… 447 |
| 図 184 貞享4年御触書(1)(五味嘉 兵衛文書)…………… 384 | 図 200 竜骨車(農耕次第図屏風、 小阪作兵衛所蔵)…………… 451 |
| 図 184 貞享4年御触書(2)…………… 385 | 図 201 天明3年宗旨人家御改帳に 記された家数と人数(五味 嘉兵衛文書)…………… 456 |
| 図 184 貞享4年御触書(3)…………… 386 | 図 202 旧三条村社八幡宮社殿…………… 468 |
| 図 185 郡家組三条村と記す文書 (五味六兵衛文書)…………… 386 | 図 203 芦屋の山野…………… 470 |
| 図 186 三条村庄屋印(五味六兵衛 所蔵)…………… 389 | 図 204 天明3年三条村御用林鎌留 め申合せ(小阪作兵衛文書)…………… 474 |
| 図 187 寛文9年頃の芦屋村高(宝 塚市加藤省吾文書)…………… 393 | 図 205 三条村山見取米免定(小阪 作兵衛文書)…………… 476 |
| 図 188 寛文検地帳奥書写し(小阪 作兵衛文書)…………… 395 | 図 206 入会山梅谷分割連判証文 (小阪作兵衛文書)…………… 477 |
| 図 189 寛文9年頃の打出村高(宝 塚市加藤省吾文書)…………… 398 | 図 207 梅谷割山証文絵図(神戸市 左博文書)…………… 479 |
| 図 190 寛文9年頃の三条村・津知 村高(加藤省吾文書)…………… 402 | 図 208 三条村持山譲受け一札(小 阪作兵衛文書)…………… 482 |
| 図 191 寛政元年三条村西歳免割目 録(1)(小阪作兵衛文書)…………… 405 | 図 209 城山からみた芦屋川…………… 491 |
| 図 191 寛政元年三条村西歳免割目 録(2)…………… 406 | 図 210 芦屋川一の井堰あと…………… 492 |
| 図 192 文政2年三条村御年貢米納 帳(小阪作兵衛文書)…………… 414 | 図 211 東川用水路(西山町)…………… 493 |
| 図 193 芦屋村石稜冥加銀納帳(井 床利兵衛文書)…………… 415 | 図 212 東川用水掛り田地面積(小 阪作兵衛文書)…………… 494 |
| 図 194 明和6年芦屋村差出明細帳 の芦屋川御普請記事…………… 417 | 図 213 畦垣内の分水取入れ口…………… 497 |
| | 図 214 寛政12年本庄5か村東川番 |

| | |
|---|---|
| 閣文庫所蔵) …………… 274 | 図 161 豊臣秀吉禁制(西宮市吉井 良尚文書) …………… 330 |
| 図 138 近世初頭の摂津国全図にみ える街道(西宮市立図書館 所蔵) …………… 278 | 図 162 天正 19 年摂津一国高御改帳 (西宮市吉井良尚文書) …… 336 |
| 図 139 元弘 3 年太山寺衆徒進状 (太山寺文書) …………… 281 | 図 163 大阪夏の陣図屏風部分(天 満川)(大阪城天守閣所蔵) … 338 |
| 図 140 楠町にある楠公戦跡碑 …… 283 | 図 164 片桐主膳正貞隆花押 …… 340 |
| 図 141 芦屋打出浜(昭和初期撮影) … 285 | 図 165 戸田氏鉄禁制(尼崎市本興 寺文書) …………… 344 |
| 図 142 元亨元年葦屋庄地頭沙弥法 一田地寄進状(勝尾寺文書) … 287 | 図 166 尼崎城絵図(宝塚市加藤省 吾文書) …………… 345 |
| 図 143 忠富王記明広 7 年 7 月 1 日 … 291 | 図 167 青山氏知行目録写し(宝塚 市加藤省吾文書) …………… 347 |
| 図 144 鷹尾山(城山)と芦屋河原 … 296 | 図 168 松平氏の九曜紋(尼崎市岡 本浩義所蔵) …………… 349 |
| 図 145 鷹尾城址付近地形図 …… 297 | 図 169 天満宮(大阪市)にある西 山宗因の句碑 …………… 350 |
| 図 146 鷹尾城址から本庄方面を望 む …………… 300 | 図 170 明和 6 年芦屋村差出明細帳 (猿丸吉左エ門文書) …… 352 |
| 図 147 越水城址から鷹尾城址を望 む …………… 303 | 図 171 モンタヌス『日本誌(1669 年刊)』にみえる海から見 た大阪の町 …………… 355 |
| 図 148 永祿 3 年三好日向守長康山 論裁許状(吉田善八所蔵) … 309 | 図 172 大阪城(モンタヌス『日本 誌』1669 年刊) …………… 357 |
| 図 149 芦屋廃寺軒丸瓦拓影 …… 316 | 図 173 大阪夏の陣図屏風(大阪城 天守閣所蔵) …………… 361 |
| 図 150 芦屋廃寺軒丸瓦拓影 …… 317 | 図 174 現在の大阪城平面図と壁面 番号 …………… 364 |
| 図 151 芦屋廃寺軒平瓦拓影 …… 318 | 図 175 西外濠 20 号壁の「あしや」 刻印 …………… 365 |
| 図 152 芦屋廃寺軒平瓦拓影 …… 319 | 図 176 西山町にあった刻印石 …… 368 |
| 図 153 鷹尾城址(城山) …… 321 | 図 177 黒川古文化研究所内の刻印 石 …………… 368 |
| 図 154 津知町日吉神社石祠と屋根 にある銘 …………… 323 | 図 178 奥山ゴロゴロ岳 A 地区の刻 印石 …………… 371 |
| 図 155 一石五輪塔(津知町)在銘 … 323 | |
| 図 156 有銘石材(打出翠ヶ丘町) … 324 | |
| 図 157 板碑(東芦屋町) …… 324 | |
| 【第 5 章】 | |
| 図 158 三好三人衆誓約状(豊中市 今春定文書) …………… 326 | |
| 図 159 荒木村重花押 …… 327 | |
| 図 160 有岡城跡(伊丹市) …… 328 | |

図版・表目次

(親王寺所蔵) …………… 151

図 91 親王塚出土 内行花文鏡
(親王寺所蔵) …………… 152

図 92 内行花文鏡と三角縁神獸鏡
の図(「阿保親王事蹟詮議」
所載) (山口県文書館所蔵
毛利家文書) …………… 153

図 93 八十塚古墳群、朝日ヶ丘古
墳群位置図 …………… 159

図 94 八十塚古墳群 A号墳実測
図 …………… 160

図 95 八十塚古墳群 A号墳 …… 161

図 96 陶棺八十塚古墳群 A号墳
出土 …………… 162

図 97 八十塚A号墳出土陶棺復原
図 …………… 163

図 98 八十塚古墳群遺構位置図 …… 164

図 99 八十塚古墳群 C号墳実測
図 …………… 165

図 100 八十塚古墳群出土須恵器 …… 167

図 101 E号墳出土の紡錘車 …… 169

図 102 朝日ヶ丘古墳群 1号墳実
測図 …………… 171

図 103 朝日ヶ丘古墳群 2号墳実
測図 …………… 172

図 104 2号墳出土の純金製耳飾 …… 173

図 105 劔谷1号墳実測図 …… 175

図 106 三条町古墳出土竈形土器 …… 176

図 107 西山町の甕棺出土状況 …… 177

図 108 城山古墳 …………… 178

図 109 旭塚古墳 …………… 179

図 110 芦屋神社境内古墳実測図 …… 180

【第3章】

図 111 条里区画 …………… 199

図 112 反別地割 …………… 200

図 113 菟原郡条里復原図 (吉井良
尚作成) …………… 203

図 114 菟原、武庫両郡界を示すと
伝える古松 …………… 204

図 115 高山寺本和名類聚抄(天理
図書館所蔵) …………… 208

図 116 芦屋廃寺塔心礎礎石 …… 220

図 117 芦屋廃寺塔心礎実測図 …… 221

図 118 芦屋廃寺C・D地区実測図 …… 222

図 119 薬師堂址 …………… 223

図 120 薬師堂址実測図 …………… 224

図 121 摂津名所図会に見える薬師
堂 …………… 225

図 122 乱石積と用水路 …………… 226

図 123 D地区調査地点断面図 …… 227

図 124 芦屋廃寺花文軒丸瓦拓影 …… 228

図 125 芦屋廃寺重圏文軒丸瓦拓影 …… 230

図 126 芦屋廃寺唐草文軒平瓦拓影 …… 233

図 127 芦屋廃寺重弧文軒平瓦拓影 …… 234

図 128 芦屋廃寺鬼瓦片 …………… 235

図 129 文字のある磚 …………… 236

図 130 薬師堂址出土壺 …………… 238

図 131 阿保親王画像(親王寺所蔵) …… 247

図 132 阿保親王墓 …………… 248

図 133 石製帯飾具(親王寺所蔵) …… 250

【第4章】

図 134 弘安7年摂津国棟別銭請取
状(勝尾寺文書) …………… 267

図 135 叡尊木像(西大寺所蔵) …… 268

図 136 感身学正記(思円上人一期
形像記)(西大寺所蔵) …… 269

図 137 正和4年兵庫関悪党乱入交
名注進状の首部と中部(内

【第2章】

| | | | | | |
|------|--|-------|------|---|-----|
| 図 40 | 岩ヶ平出土の石器…………… | 64 | 図 61 | 会下山遺跡全景…………… | 110 |
| 図 41 | 朝日ヶ丘遺跡出土の旧石器… | 65 | 図 62 | 会下山遺跡配置図…………… | 111 |
| 図 42 | 朝日ヶ丘縄文遺跡の位置図… | 71 | 図 63 | S地区祭祀址…………… | 112 |
| 図 43 | 朝日ヶ丘縄文遺跡出土石鏃 の形式分類…………… | 75 | 図 64 | Q地区遺構発掘状況…………… | 112 |
| 図 44 | 石匕の各種…………… | 75 | 図 65 | F地区住居址…………… | 113 |
| 図 45 | 石斧…………… | 76 | 図 66 | F地区住居址実測図…………… | 114 |
| 図 46 | 朝日ヶ丘遺跡出土土器拓影… | 77 | 図 67 | P地区実測図—住居間の柱 穴群—…………… | 115 |
| 図 47 | 朝日ヶ丘遺跡出土土器実測 図…………… | 78 | 図 68 | E地区住居址…………… | 116 |
| 図 48 | 朝日ヶ丘縄文遺跡土層実測 図…………… | 80～81 | 図 69 | E住居址実測図…………… | 117 |
| 図 49 | 朝日ヶ丘縄文遺跡遺構実測 図…………… | 82 | 図 70 | C地区住居址…………… | 118 |
| 図 50 | 朝日ヶ丘遺跡遺構…………… | 82 | 図 71 | C地区住居址実測図…………… | 119 |
| 図 51 | 紅野芳雄採集石器(「考古小 録」所収写真)…………… | 83 | 図 72 | X地区住居址実測図…………… | 120 |
| 図 52 | 吉岡昭採集石器…………… | 84 | 図 73 | N地区遺構実測図…………… | 121 |
| 図 53 | 弥生前期の石器(上ノ島遺 跡出土)…………… | 90 | 図 74 | L地区住居址…………… | 122 |
| 図 54 | 山形状口縁部をもった土器 (上ノ島遺跡出土)…………… | 91 | 図 75 | L地区住居址実測図…………… | 123 |
| 図 55 | 有樋式石剣・鉄剣形石剣… | 95 | 図 76 | J地区住居址…………… | 124 |
| 図 56 | 銅鐸之図(「阿保親王事蹟詮 議」所載)(山口県文書館 所蔵毛利家文書)…………… | 100 | 図 77 | N地区焼土壇…………… | 125 |
| 図 57 | 打出楠町堂ノ上出土銅鐸 (B面)(親王寺所蔵)…………… | 101 | 図 78 | M地区1号土壇墓(土壇内 の甕)…………… | 126 |
| 図 58 | 打出楠町堂ノ上出土銅鐸実 測図…………… | 102 | 図 79 | 会下山遺跡出土土器実測図… | 127 |
| 図 59 | 田能遺跡全景(尼崎市教育 委員会提供)…………… | 106 | 図 80 | 石鏃…………… | 128 |
| 図 60 | 田能第16号棺出土碧玉製管 玉(尼崎市教育委員会提供)… | 107 | 図 81 | 石錘…………… | 129 |
| | | | 図 82 | 柱状片刃石斧…………… | 129 |
| | | | 図 83 | 鉄器…………… | 131 |
| | | | 図 84 | 漢式三角鏃(銅鏃)…………… | 131 |
| | | | 図 85 | 会下山からの眺望…………… | 133 |
| | | | 図 86 | 金津山実測図…………… | 146 |
| | | | 図 87 | 金津山古墳…………… | 147 |
| | | | 図 88 | 阿保親王墓実測図(宮内庁 書陵部提供)…………… | 148 |
| | | | 図 89 | 阿保親王墓の図(「阿保親王 事蹟詮議」所載)(山口県 文書館所蔵毛利家文書)… | 149 |
| | | | 図 90 | 親王塚出土三角縁神獸鏡 | |

本文図版目次

【第1章】

図1 芦屋市の位置…………… 10

図2 芦屋の気候グラフ…………… 11

図3 芦屋地方の夏の気温…………… 11

図4 芦屋地方の冬の気温…………… 11

図5 降水量の分布…………… 14

図6 芦屋地方の風向…………… 16

図7 芦屋地方の地質図（藤田和夫ほかの地質図等による）… 20

図8 東お多福山のなだらかな山容…………… 21

図9 ゴロゴロ岳付近花崗岩の露出状況…………… 22

図10 東六甲山地の岩石強度分布図（藤田和夫ほかの原因による）…………… 23

図11 六甲山地における花崗岩の割れめ密度分布図（池田碩の原因による）…………… 24

図12 高塚山大阪層群地質柱状図（藤田和夫の原因による）… 25

図13 朝日ヶ丘町の大阪層群の様子…………… 26

図14 東六甲山地断層系（藤田和夫の原因による）…………… 28

図15 五助橋断層の露頭（藤田和夫の原因による）…………… 29

図16 甲陽断層の露頭（藤田和夫の原因による）…………… 30

図17 芦屋地方切峯面図…………… 32

図18 地形縦断面…………… 33

図19 地形縦断面…………… 33

図20 芦屋地方地形区…………… 34

図21 芦屋地方投射断面図…………… 35

図22 バッドランドの形成模式図（池田碩の原因による）… 37

図23 六甲山地の地形形態的分類（池田碩による）…………… 38

図24 芦屋平野の地形分類図…………… 40

図25 芦屋平野地形区分…………… 41

図26 芦屋平野地盤高図（国土地理院2万5千分1土地条件図等による）…………… 42

図27 芦屋付近の六甲山地模式断面図…………… 48

図28 ナウマン象化石…………… 50

図29 ナウマン象出土地点図…………… 50

図30 ナウマン象の臼歯（亀井節夫による）…………… 50

図31 ナウマン象臼歯化石出土地… 51

図32 芦屋地方起伏量図…………… 55

図33 芦屋川河床縦断面図…………… 56

図34 昭和13年7月大水害芦屋付近被災状況図（石橋五郎ほかの原因による）…………… 57

図35 昭和13年7月豪雨による芦屋川流域崩壊図（田中茂の原因による）…………… 58

図36 昭和13年7月豪雨の雨量分布図…………… 59

図37 昭和13年7月3、4、5日降雨の時間別分布…………… 59

図38 昭和36年水害の状況…………… 61

図39 昭和36年6月豪雨の降水分布…………… 62

新修芦屋市史 本編 図版・表・付図目次

巻頭図版目次

図版

- | | |
|---|---|
| <p>1 寛延3年 山論裁許状紙背絵図 (芦屋市役所所蔵) (縦 259 cm 横 245.5 cm) (裁許状は図版 18 に収載)</p> <p>2 地図に見る明治前期の芦屋市(南部) [明治 17・18 年測量 陸地測量部] [2 万分 1 地形図]</p> <p>3 空から見た芦屋市(南部) (昭和 36 年 撮影)</p> <p>4 市域全景 南方海上からのぞむ</p> <p>5 市街中心部 芦屋川上空から東方をのぞむ</p> <p>6 市街景観 市役所と第 2 阪神国道・兵庫県道阪神高速神戸西宮線をのぞむ</p> <p>7 市街景観 市中央部</p> <p>8 市街景観 朝日ヶ丘北部から東南方をのぞむ</p> <p>9 市街景観 芦屋川から北東方をのぞむ</p> <p>10 空から見た会下山弥生遺跡</p> <p>11 山手中学校庭から見た会下山弥生遺跡</p> <p>12 会下山弥生遺跡出土石鏃と銅鏃</p> | <p>13 会下山弥生遺跡 出土土器</p> <p>14 打出楠町堂ノ上出土銅鐸 (A 面・側面) (親王寺所蔵)</p> <p>15 打出出土三角縁神獸鏡 (陳孝然作鏡) (聆濤閣旧蔵)</p> <p>16 芦屋廃寺跡出土瓦</p> <p>17 打出神宮寺の十一面観音像</p> <p>18 寛延3年山論裁許状 (芦屋市役所所蔵) (紙背絵図は図版 1 に収載)</p> <p>19 裁許状左下端宛所村名</p> <p>20 裁許状包装表書</p> <p>21 元祿3年 三条村絵図 (小阪作兵衛文書)</p> <p>22 三条村新田畑養水図 (小阪作兵衛文書)</p> <p>23 安政4年芦屋川水車絵図 (左 博文書)</p> <p>24 「尼崎より明石に至る海浜の絵図」 にえがかれた芦屋地方 (西宮市広田神社所蔵)</p> <p>25 福原鬘鏡(延宝8年版 天理図書館所蔵)にみえる芦屋地方</p> |
|---|---|

新修芦屋市史 本篇

昭和 46 年 11 月 5 日 印刷

昭和 46 年 11 月 10 日 発行

編集者 芦屋市史編集専門委員
代表 武 藤 誠

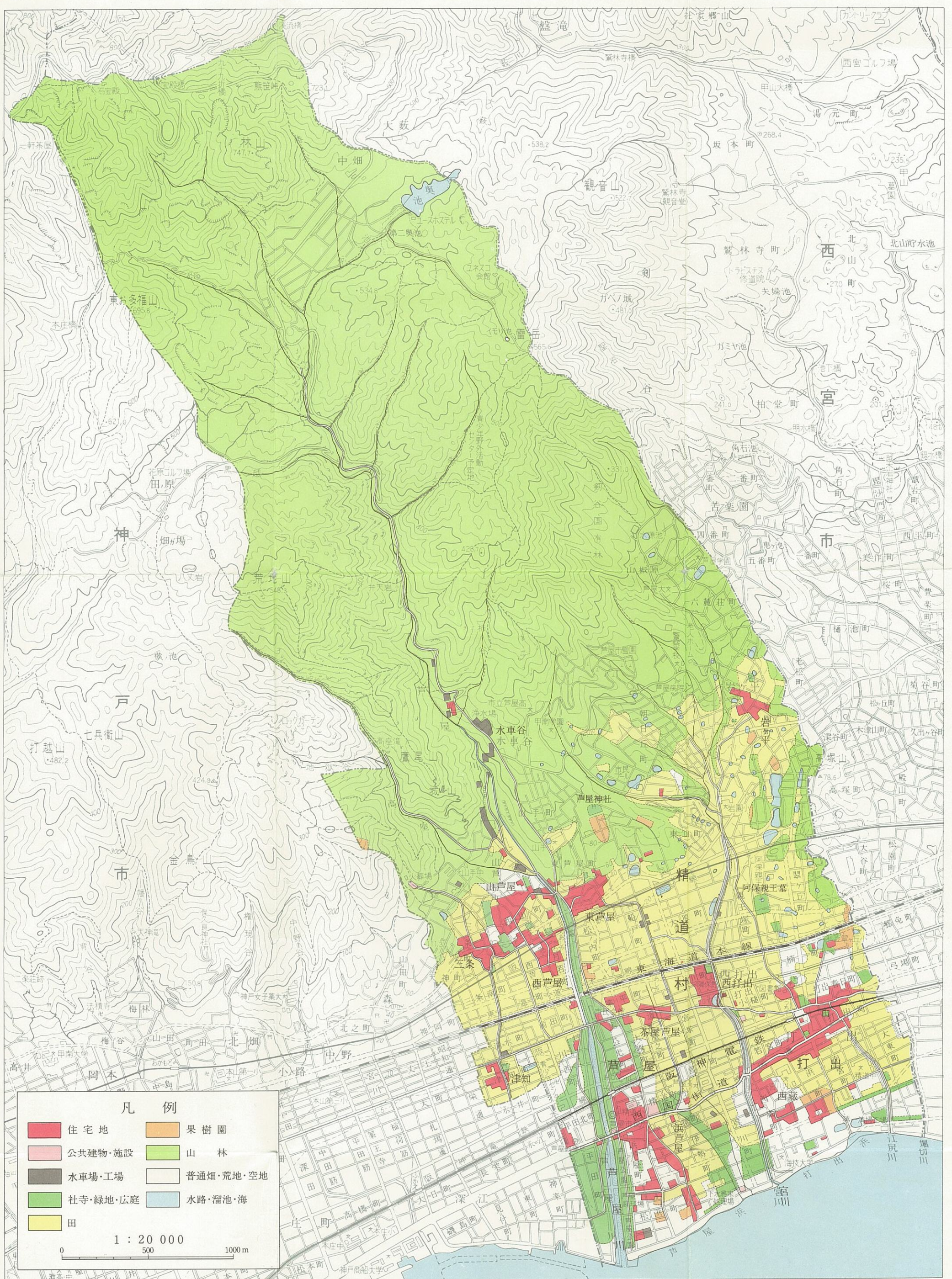
発行者 芦屋市長
渡辺万太郎

印刷所 大阪市福島区海老江上4丁目23番地
凸版印刷株式会社

発行所 芦屋市精道町7番6号
芦屋市役所

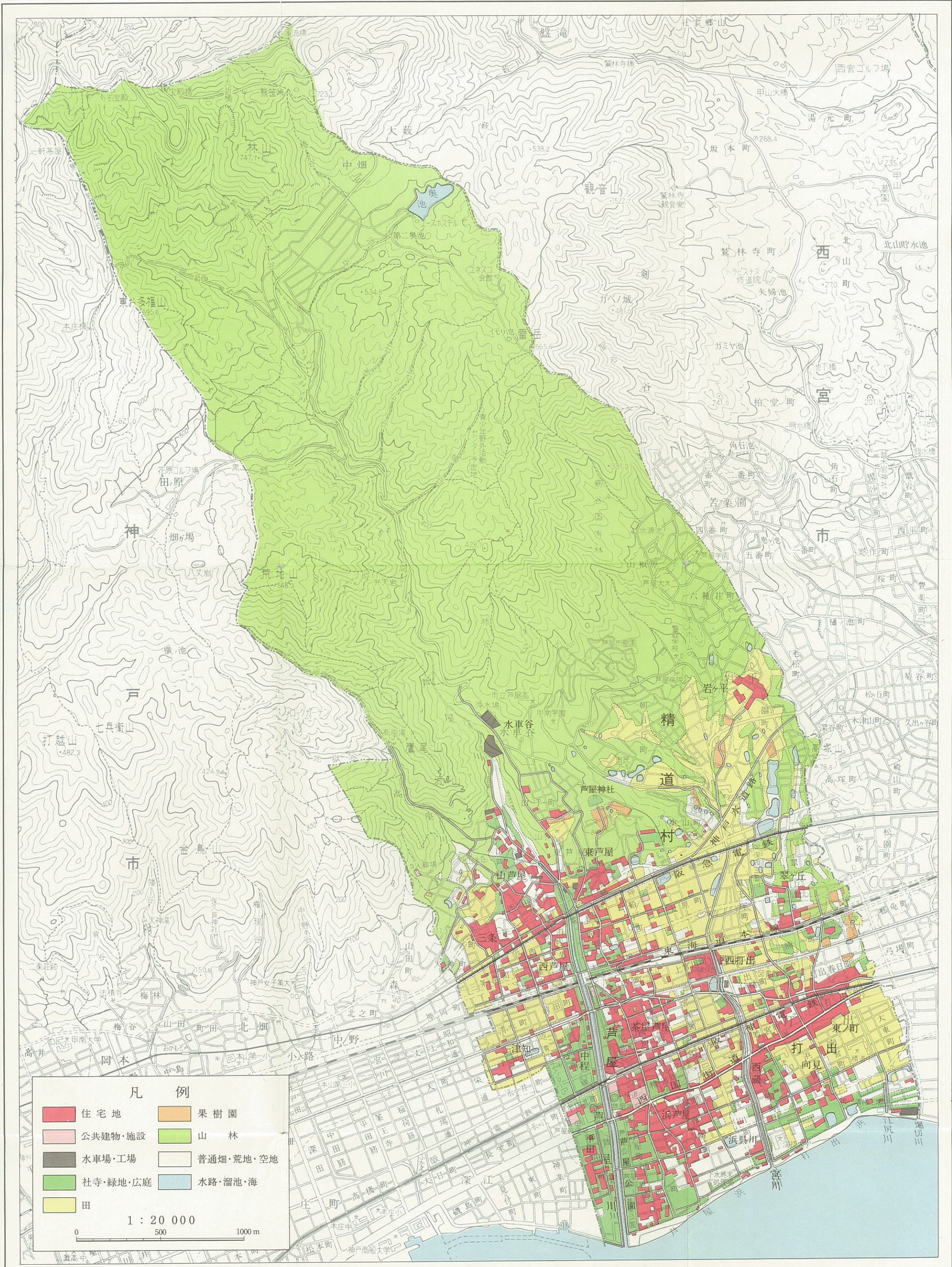
精道村土地利用図 (大正3年)

第1図



精道村土地利用図 (大正12年)

第2図

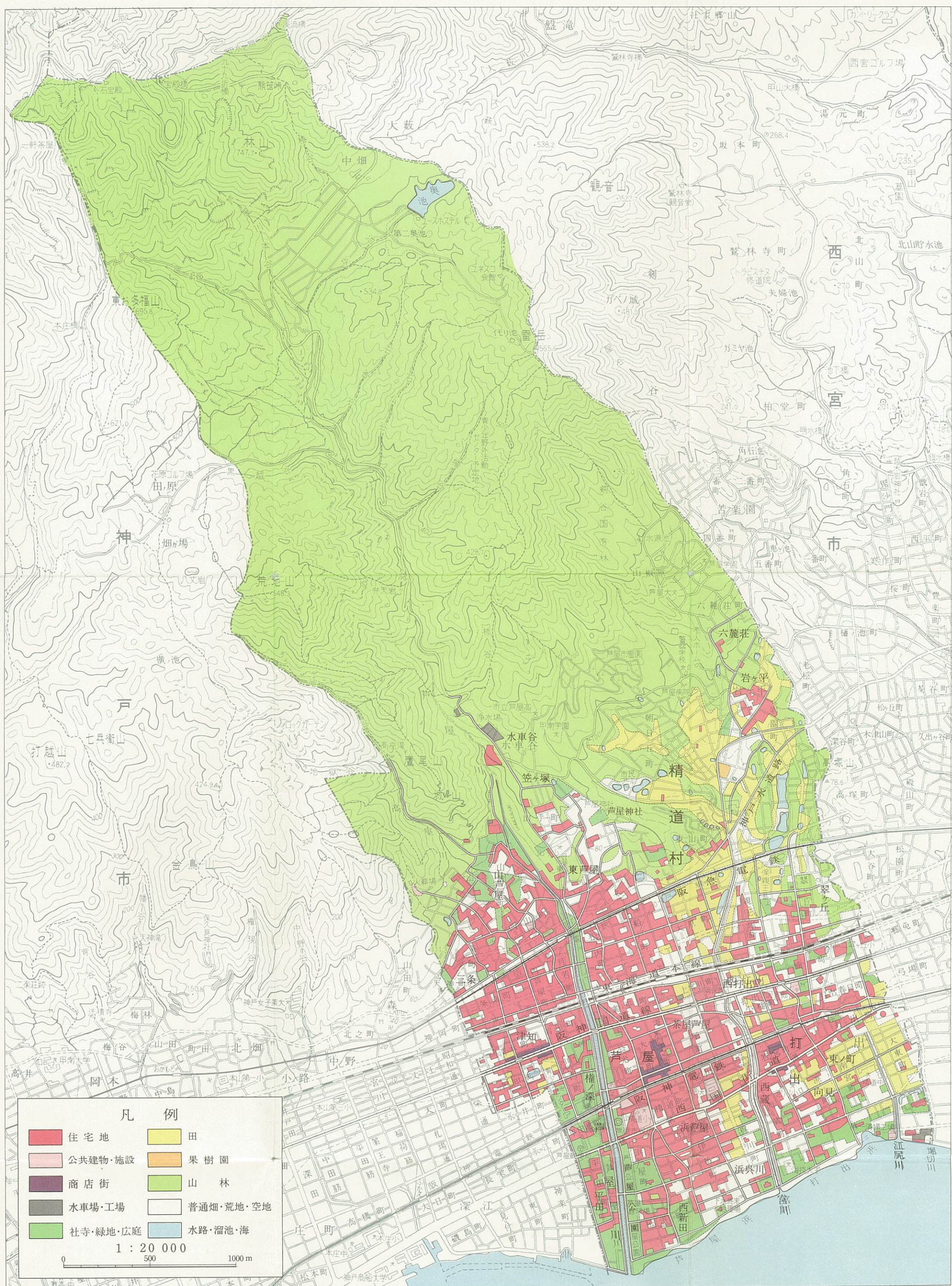


地形図は昭和45年現在

地図制作 森 三蔵

精道村土地利用図 (昭和7年)

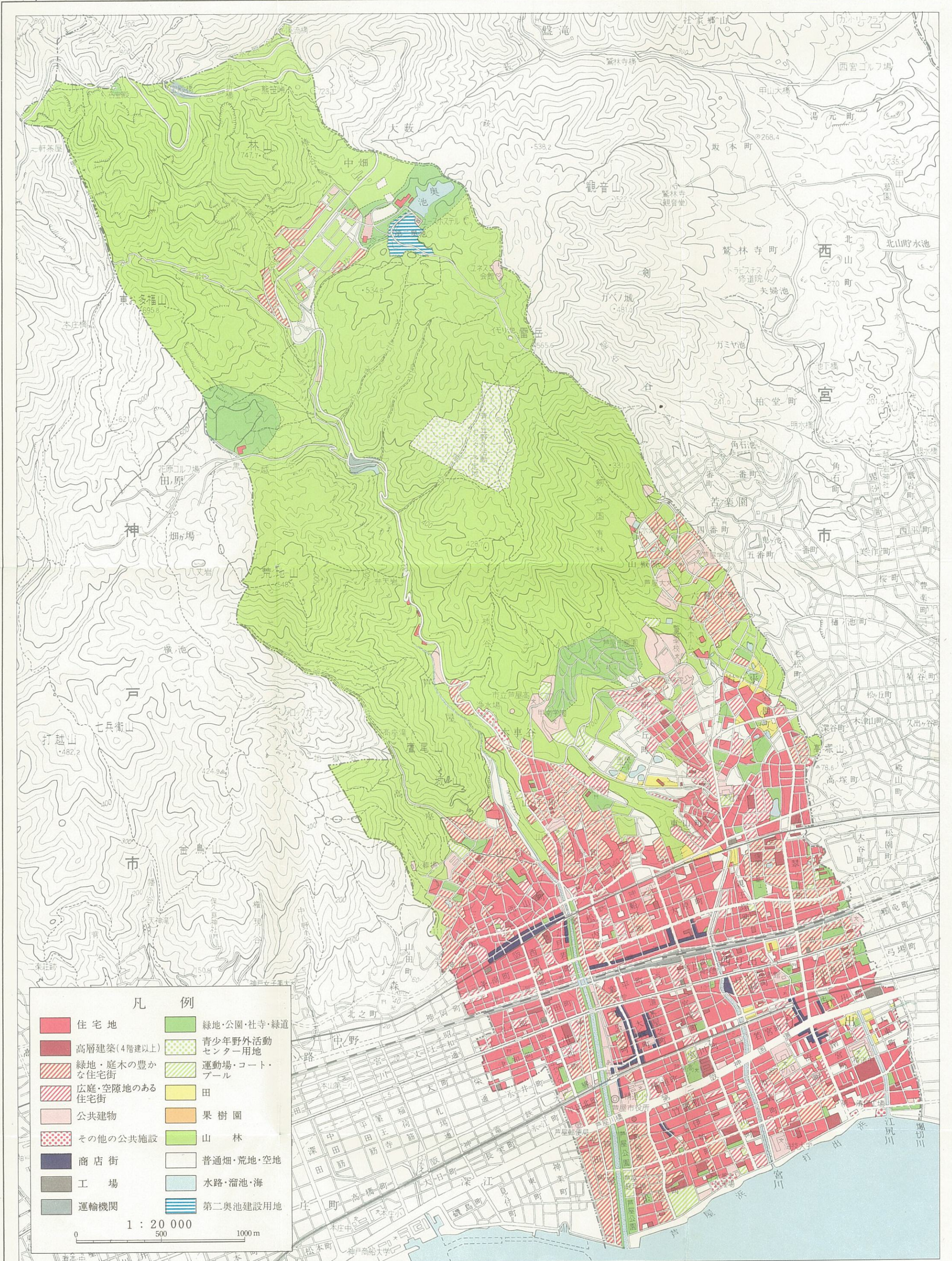
第3図



地形図は昭和45年現在

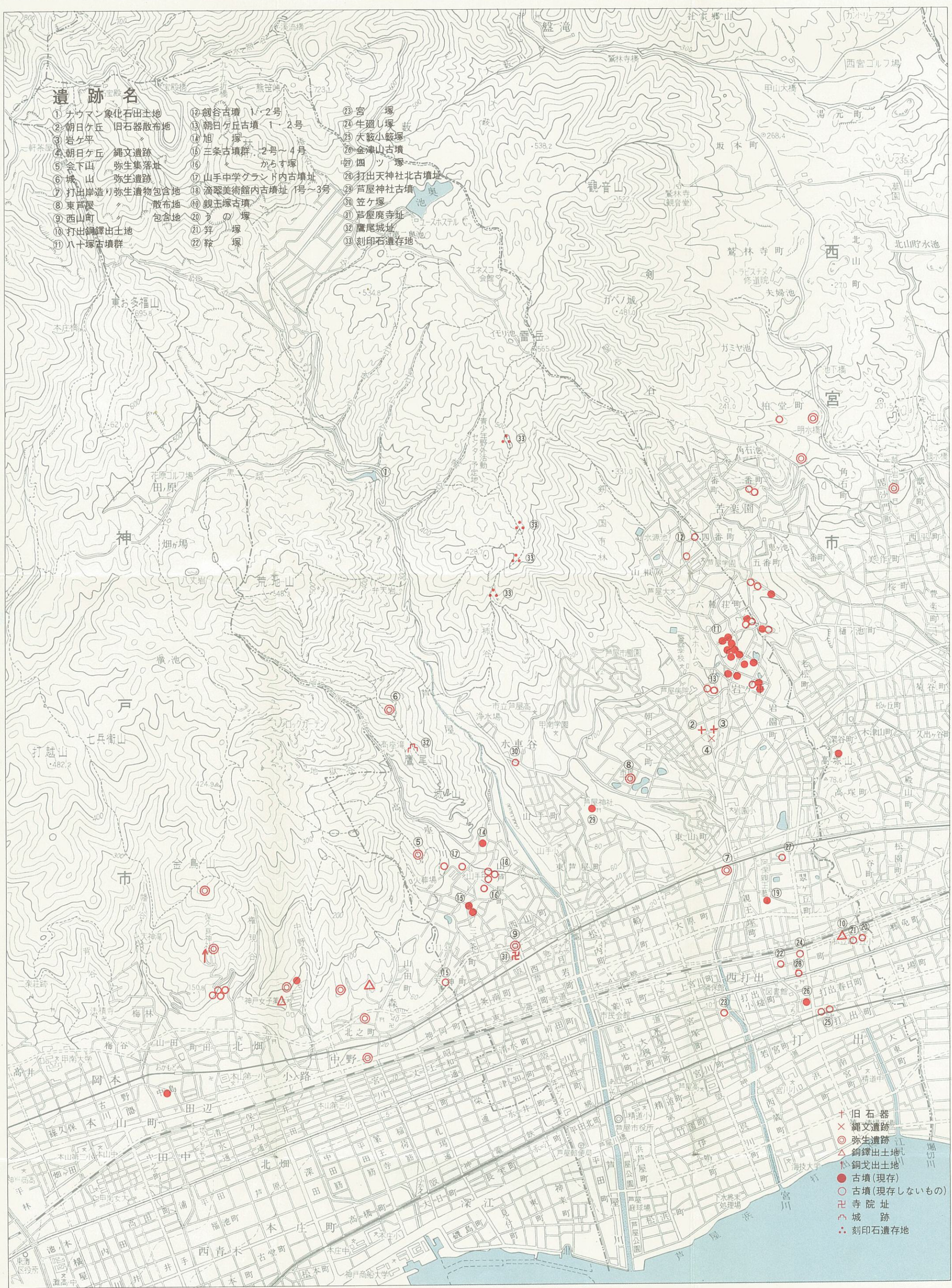
地図制作 森 三蔵

芦屋市土地利用図 (昭和44年)



芦屋市遺跡地図

第5図



新井公里
核丸
大生坂
乙光坊
兼師堂
瀬見橋

新井公里
核丸
大生坂
乙光坊
兼師堂
瀬見橋

